

出向く宮農レポート

～瀬戸市学校給食へキャベツの出荷を目指して～



北部宮農センター 瀬戸地区担当
井上 達幾

今年度、三国ウエスト農場を含め3農家で学校給食用のキャベツの栽培に取り組んでいます。例年、学校給食への出荷は12月からでしたが、早期定植により11月頃からの出荷を目指し栽培に取り組んでいます。

今回は、瀬戸市北部の三国高原で様々な野菜を栽培している、三国ウエスト農場を訪問しました。

三国ウエスト農場では今年から学校給食用のキャベツ栽培に挑戦しており、三国高原の冷涼な環境を活かした早期定植による早期出荷を目指しています。

定植は7月中旬～下旬に行いました。キャベツは栽培の初期段階でアオムシ等の食害に遭うと以降の生育に大きく影響するためプレバソンフロアブル5の灌注処理^{かんちゅう}による害虫対策を依頼しました。



今回の訪問時は、畑に定植してから約3週間経過しており、ヨトウムシやアオムシの被害が出始めていたため、アフーム乳剤の散布による防除を依頼しました。

初めての学校給食への出荷に向け良質なキャベツを栽培できるよう今後も定期的に栽培指導をしていきます。

※灌注処理…セル苗やペーパーポットの段階で希釈した薬液を散布し、根から有効成分を吸収させ植物全体に行き渡らせる処理方法

チョウ目(ヨトウムシ・アオムシ等)へのキャベツの適用農薬

| | 使用方法 | 希釈倍率 | 使用時期 | 使用回数 |
|-------------|------|------------|------------|------|
| プレバソンフロアブル5 | 灌注 | 100倍 | 育苗期後期～定植当日 | 1回 |
| アフーム乳剤 | 散布 | 1000～2000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |